

【委員会報告】

平成 25 年度 就職懇談会 報告

企画委員 玉田 彰(53 回生)



梅雨も明けた 7 月 13 日(土)、恒例の就職懇談会が学友会主催で開催されました。今年も昨年同様、「夏休み前に気合を入れて有意義な時間にしてほしい」との親心からこの時期の開催となりました。皿谷弘樹企画委員(短大 2 回生)の司会進行により、神澤良明学友会会長が発会から 84 年の歴史を、さらには「卒業生と在学生とを結ぶ絆」、「懇談の場の提供」と学友会の役割についての紹介がありました。

その後、「先輩からの一言」と題して、以下の 5 名の卒業生に講演をしていただきました。

長尾江里子さん(医療機器メーカー勤務:短大 3 回生)

会社の紹介やアプリケーションの具体的な業務内容の説明があり、「自分次第でありとあらゆるチャンスがある」とやり甲斐と夢についても語っていただきました。学生からは「どうすれば一般病院から企業に転職できたのか」、「病院と比べて給料は良いのか」等の多数の質問がありました。

西田 高大さん(西宮市立中央病院:短大 13 回生)

今日までのエピソードを交えた経歴から公務員になるための方法、なつてからの夢のある話(給与、賞与の具体的な数字も公表)で会場は大爆笑。しかし締めくくりには「就職活動より国家試験合格を目指すべき」と先輩としての激励もありました。

長谷川亮介さん(医療法人知音会 御池クリニック:短大 14 回生)

人間ドックを中心とした予防医学に携わる先輩の立場から、業務内容や最新の医療機器の紹介、さらに病院とクリニックの違いについても話していただきました。

白木 了太さん(滋賀保健研究センター:短大 18 回生)

新設された別館フロアを DVD で紹介、出張健診や検診車両、また勤務体制や給与(具体例を示した)に関して紹介されました。

本谷 崇之さん(神戸大学附属病院:大学 3 回生)

今年の 4 月に就職したばかりのフレッシュな先輩として職場における 1 年生のルーチン業務を紹介、国家試験対策に関しては「8 月から本気で取り組もう」、就職活動に関しては「病院選びには是非とも見学をすべき」等、昨年の経験談を話していただきました。学生からは国家試験対策全科の活用法、過去問題の取り入れ方についての質問があり、有意義な情報が得られた事と思われます。

休憩後の「あなたの疑問に答えます」では司会進行の川光秀昭企画委員長より「進路(就職)決定」、「就職試験対策」についての貴重なアドバイスがありました。特に印象に残ったであろう言葉は「施設見学に行つて印象を悪くすることもある」、「国家試験は基準さえクリアすれば合格できるが、就職試験は選定なので良い点数を取つても合格できない場合もある」ではなかったかと思いました。

懇親会の締めは西谷源展教授、堀井均講師が蒸し暑い中準備して下さったバーベキュー。不安定だった天候は宴会開始前には本降りとなり、東屋の中に学生と OB が密集することになりました。参加人数は若干少なかったものの、あちこちで情報交換やアドバイスの花が咲き、たいへん有意義な時間であったと感じました。

以上